



県議会議員
浅川 力三

浅川力三 県政だより

誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心の郷土愛」

地域のためにこれからも行動します



株式会社 裕源 代表取締役社長 謝 明達氏のご厚意により北杜高校の生徒10名と引率者3名が、3月11日～18日に台湾台中でのインターンシップを行いました。写真は山梨県教育長に目録を贈呈した時のものです。



台湾台中でのインターンシップに参加する北杜高校の生徒10名が株式会社 裕源 代表取締役社長 謝 明達氏とともに長崎知事を訪問しました。



山梨県立北杜高校の卒業式にて、同窓会 会長として祝辞を述べさせていただきました。



18回 山梨県雪合戦大会は、今年も全国から24チームが参戦、300人以上の参加者により盛大に開催されました。



長年の美し森 環境整備の取り組みに対し、環境省が「美し森の遊歩道」と「清里美し森デッキ」を整備しました。オープニングセレモニーを行いました。



北杜市内の酪農家と畜産家の皆さんとヘルパーについて意見交換をおこないました。



多くの清里地区の皆さんとタウンミーティングを行い、有意義なご意見をいただきました。



第9回 シェフズバルin八ヶ岳で開会の挨拶をしました。今年も12人のシェフが一同に会し、旬の食材を使った料理をふるまう食のイベントは大盛況でした。



今年も日本橋で北杜市の観光キャンペーンを、多くの仲間とともに2日間にわたり行いました。



日頃から私の政治活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、与党自民党は裏金問題で激震が走っています。自民党安倍派による政治資金パーティー裏金事件は、岸田首相が3月に開かれた全国幹事長会議で謝罪し、「命がけで党再生に努力したい」と述べる状況となっています。

裏金事件については、国会議員が口先だけで弁明しても、責任を取る行動がなければ国民は納得しないでしょう。

また、厳しい状況の中で政治改革を求める地方の声も、十分に反映されていないように思います。

岸田首相には、政治に対する国民の不信感、不公平感や不安を払拭するため、先頭に立って行動し、改革を実行していくことを期待しています。

私は、県議員に当選させていただいて以来、21年にわたって、「地域の安全・安心に少しでも貢献したい」、「地域の切実な要望を実現に結びつけたい」との想いを胸に刻みながら、政治活動に邁進してきました。

そのため、地域の皆さんの声をつぶさにお聴きするとともに、地域課題の現場に参上し、実際の課題を聴き現状を観ることによって、根本的な解決に繋がるよう汗をかいてまいりました。



これからも地域の課題解決のため、様々な機会を通して地域の皆様と意見を交わしながら、言葉だけでなく、地に足をつけた政治活動に努めてまいります。

ところで、1月1日に発生した能登半島地震においては、3月31日時点で240名を超える方々が亡くなられ、8千棟以上の家屋の全倒壊が発生しました。

また、道路の土砂崩れによる通行止め、河川の護岸崩落や、電気、ガスの供給停止、断水などのインフラの被害が多数発生しています。

特に、木造家屋の倒壊や道路の土砂崩れによる通行止めは、迅速な人命救助や復旧の妨げとなったことから、私は、家屋の耐震化、代替道路の整備、改良や河川の護岸工事の実施などの「県土の強靱化」に速やかに取り組む必要性を、改めて痛感しました。

令和6年度県予算では、木造住宅の耐震化への助成や防災・減災対策に資するインフラ整備などを重点的に進めることとしております。

私も、県政と一体となって「県土の強靱化」が間断なく進められるよう、専心してまいります。

皆様には、これまでも増して、温かいご支援とご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

浅川力三プロフィール

- 昭和22年7月8日生
- 昭和41年/須玉商業卒業
- 昭和45年/拓殖大学卒業
- 昭和49年/昭和薬科大学卒業
- 平成10年/高根町議会議員 初当選
- 平成13年/高根町議会副議長
- 平成15年/県議会議員 初当選
- 平成17年/決算特別委員長
- 平成18年/出資法人調査特別委員長
- 平成19年/農政商工観光委員長企業会計決算特別委員長
- 平成20年/総務委員長
- 平成21年/第105代県議会副議長

- 平成23年/第120代県議会議長
- 平成26年/予算特別委員長
- 平成27年/リニア議連研究委員会 委員長
- 平成28年/山梨県監査委員
- 地域振興
- 昭和59年/八ヶ岳青年会議所 創立メンバー 副理事長
- 平成9年/清里小学校PTA会長
- 平成16年/清里観光振興会長
- 平成18年/山梨県雪合戦連盟会長
- 北杜市肝友会 相談役
- 平成21年/北杜ライオンズクラブ 会長
- オール山梨青年会議所シニア会長

- 公益社団法人やまなし観光推進機構 副会長
- 平成22年/県共同募金会 会長
- 県緑化推進機構 会長
- 平成23年/産業技術短期大学校 後援会長
- 平成25年/NPO法人 ポールラッシュの会 会長
- 一般社団法人 北杜市観光協会 会長
- 平成26年/山梨県鉄道協会 会長
- 第10回ヤーコンサミットin八ヶ岳会長
- 平成27年/県自転車競技連盟 会長
- 県都市計画審議委員
- 平成28年/県立北杜高等学校同窓会 会長
- 平成30年/東京オリンピック・パラリンピック 山梨県実行委員会副会長

「県民生活の強靱化」を強力に推進

2月定例県議会は、3月21日、令和6年度当初予算案などを可決して閉会しました。

県では、喫緊の課題として「防災・減災対策の推進」を掲げ、令和6年度当初予算において過去最大規模の防災・減災対策費を計上し、能登半島地震で指摘された様々な課題について検証し、施策に生かしていくこととしています。

また、有識者による調査チームを被災地に派遣し、様々な課題について専門的見地から検証を行うこととしています。

◎情報収集・共有体制を構築

災害発生時に、迅速かつ的確に対応するためには、いち早く被害状況を把握することが必要になることから、災害の影響を受けにくい、人工衛星を利用したインターネットサービス「スターリンク」を導入し、情報収集・共有体制を強化します。

また、衛星系の防災行政無線機器をより安定的な通信が可能となる設備に更新します。

◎木造住宅耐震化を促進

本県の耐震化率は上昇しているものの、いまだ約4万戸以上の住宅が耐震性を確保しておらず、そのうち8割以上は耐震診断さえ受けていない状況と推計されます。

木造住宅の耐震化について、所有者などへの啓発を強化し、耐震診断の受診を強く促していきます。

さらに、耐震改修に対する補助については、自己負担なしで耐震改修ができるよう市町村と協力し、補助上限額を125万円に引き上げ、上限までは全額補助します。

◎物資の備蓄体制

大規模災害時に必要な物資を迅速かつ安定的に供給するため、民間物流倉庫を活用して備蓄体制を構築します。

■物資の備蓄（衛生物資等備蓄体制高度化事業費）

大規模災害時に必要な物資を迅速かつ安定的に供給するため、民間物流倉庫を活用した備蓄体制を構築

■情報伝達手段の確保（防災行政無線整備事業費）

災害時における情報伝達手段を確保するための防災行政無線機器を更新

■災害派遣医療チームの養成（(新)山梨DMAT養成研修事業費）

災害時における緊急治療や病院支援を迅速に行うため、災害医療に係る知識や専門技術を有する災害派遣医療チーム(DMAT)を養成

■災害時精神医療体制の整備（(新)災害時精神医療等体制整備事業費）

災害発生時等の緊急支援体制の強化を図るため、災害拠点精神科病院の施設整備への支援、災害派遣精神医療チーム(DPAT)を養成

■建築物の耐震化（災害時避難路通行確保対策事業費補助金）

地震発生時における住民の避難路、緊急車両の通行を確保するため、緊急輸送道路沿道等にある建築物の耐震化に対し助成

■県立学校の耐震対策（(新)県立学校非構造部材耐震化事業費）

地震発生時における児童生徒等の安全を確保するため、県立学校の天井の耐震対策を実施

■公共事業・県単独公共事業費

防災・減災対策421億円（対前年度比+69億円+19%）を計上

将来にわたる社会資本整備の持続可能性を担保するため、通常の公共事業等については、県負担の水準にも留意しつつ、重点化・効率化

能登半島地震の復旧支援のボランティア活動に参加し 激励のため、能登町の大森町長と面談しました。



武川町 上三吹地区の皆様へ、圃場整備についての事業計画説明会



小湊町 下原塚の説明会



明野町最終処分場について事業団からの説明を受け、協定の内容について強く申し入れました。



台ヶ原地区 尾白川 川床について、国土交通省富士川砂防所長より県と市の皆様へ事業計画の説明



国土交通省立ち会いのもと台ヶ原地区 尾白川の現地調査

北杜市のゴミ問題



北杜市武川町新興922番地、923番地、924番地、925番地及び926番1



北杜市須玉町境之沢88-1

T O P I C S

